

館 報

おみ

6月号
No.687

2024. 6.25 (令和6年) 編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲接戦！赤 VS 白 ～麻績小学校運動会～（6月1日撮影）関連記事は5面

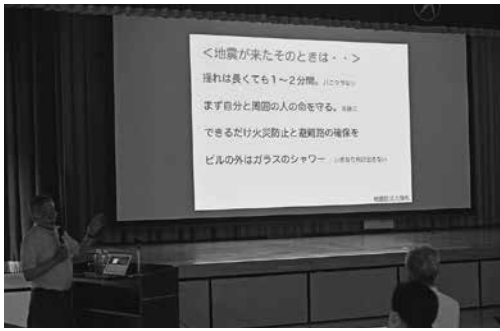
「大地震！そのとき あなたは大丈夫？」

第二回麻績学級
信州大学出前講座

第二回麻績学級を六月二十日、地域交流センターで開催し、約四十人の方が参加しました。

今回は、信州大学出前講座を活用し、令和六年能登半島地震を契機に意識が高まっている大地震に対する防災・減災と日頃からの備えをテーマとして実現したものです。

講師は信州大学理学部特任教授の原山智さんを迎え、『大地震！そのときあなたは大丈夫？』を演題にご講



▲地震に対してパニックにならずに

演いただきました。

地震被害への対策として、建物の耐震性、家具の配置や防災用品の準備、家族間の緊急の連絡方法の確認をしておき、地震が来た時にパニックにならないことが大切です。自分と周囲の人の命を守り、避難路を確保し、周囲に注意して逃げるといった、基本的なことから、震度とマグニチュードの違いなどの用語の説明、地震のメカニズムについて詳細に解説していただきました。

バイオリンと ピアノの共演

小中学生が鑑賞

麻績村主催による「ピアノ&バイオリンアウトリーチコンサート」が六月二十日の午前は麻績小学校、午後は筑北中学校で開催し、保護者や地域の方も一緒に演奏を鑑賞しました。

アウトリーチコンサートとは、日頃、文化・芸術に触れることの少ない地域・住民に対し、その機会を提供するものです。



▲美しい音色に感動

ピアノは、ドイツのシュトゥットガルト音楽大学を修了し、帰国後はピアノを教えながら演奏活動をしている大室晃子さん。

バイオリンは、現在ドイツのミュンヘンのオーケストラで副リーダーとして活躍している上田市出身の齋藤滯緒さんによる共演でした。

エルガーの「愛の挨拶」から始まり、バイオリンの斎藤さんは時折、観客席をまわって演奏するなど、子どもたちを楽しませていました。

子どもたちの感想は、初めて本物のバイオリンの演奏を見た、本当にきれいな

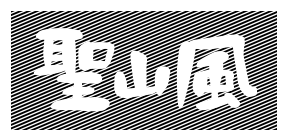
音色だったなど、音楽に興味を持つきっかけとなるコンサートでした。

ひだまり広場 ミニコンサート開催

ひだまり広場に参加されるお母さんを対象としたピアノによるミニコンサートが、六月十三日に地域交流センターで開催されました。歌をうたい、ピアノの音色を聴いて、お母さんたちが気分転換を図れないかと企画したもので、演奏は矢倉の関崎千奈美さんでした。「幸せなら手をたたこう」「ベートベンの「エリーゼのために」といった曲目を演奏しました。



▲お母さんたちの気分転換に



掃除機が突然動かなくなつた。毎日使うものなので、仕方が無いが無いと不便なため慌てて電器店へ。

念願のコードレスにしたと思いい、今流行りのD社のデモ機を使ってみたが意外と重く、自身には不向きだったため、予算の関係もありH社の軽めのものに。コードレスだと、バッテリー時間が限られるが、あちこち持ち運びに便利で今のところストレスなく快適で良い。

新しい家電は省エネになるというが、電気代の高騰でまったく省エネの良さは感じられない。

六月だというのに既に三十度を超す日が多く、今年の夏はいつたいどうなるのか。居間のエアコンも十年以上経過のため、買い替えの方が省エネなのかとも思うが、安価ではないため、ご機嫌に稼働してくれることを祈っている。

公民館行事の予定

●二十歳のつどい

日時…八月十五日（木）
場所…

①式典

麻績村役場

②祝賀会

地域交流センター

対象…平成十六年四月二日

から平成十七年四月一日までの出生者で、麻績小学校及び筑北中学校に在籍していた方、または現在麻績村に住所がある方。

対象者となる方には直接ご通知いたします。

●第四回麻績学級

日時…八月二十二日（木）

午後二時から

場所…地域交流センター

講師…白馬おじさんバンド

リーダー 中村豊さん

内容…音楽を楽しむギター

演奏と歌

演題…「ひまつぶしコンサート」なつかしのメロ

ディーをギター弾き語りで

みんなで

スポーツしよう！

「ふれすぽ」スタート

今年度も体育祭に代わるスポーツのイベントとして、「ふれすぽ」を開催しました。

麻績村スポーツ指導委員を中心に企画と運営がされ、第一回は、「スポーツ鬼ごっこ」を五月二十六日に麻績村体育館で実施し、二十人が参加しました。

スポーツ鬼ごっことは、鬼ごっこ協会が鬼ごっこに



▲まずは準備運動



▲お宝ゲット！

ゲーム要素を取り入れて子どもから大人までが気軽に楽しめるように開発したもので、時間内に敵陣にある宝を、相手チームからタッチされないように近づいて獲得し、多く得点したチームが勝つというものです。最初は準備運動から始め、簡単なゲームを行い、最後には基本ルールに基づいた試合を行いました。

相手チームの目を盗みながら、宝に向かっていくのですが大人よりも子どもたちのほうが、得点を稼いでいました。

体育館で実施し、十八人が参加しました。

スポレックとは、新潟県糸魚川市教育委員会が考案されたスポーツで、ネットの高さを九十センチにしたバドミントンコートを使い、プラスチックのラケットでテニスボールと同じ大きさのスポンジボールを打ち合うゲームです。こちらも子どもから大人まで手軽にテニスの醍醐味を、狭い場所でも味わうことができます。

二面を使い、一方は気軽に楽しむコート、他方は本気で打ち合うコートにわかれ、ダブルスで最初は打ち合いから、最後はゲームを



▲狙いはバッチリ

行いました。中には、経験者かと思うような参加者もいて、ゲームでは子どもと大人関係なく真剣な試合が繰り広げられていました。



▲木造の階段は掃除が大変

筑北中学校生徒が 地域奉仕活動実施

筑北中学校は、地域に感謝をこめて清掃等をする奉仕活動を、五月二十九日に麻績学舎（旧麻績小学校北校舎）、みたらしの湯（福祉センター）、旅籠花屋の三か所にわかれて行いました。麻績学舎では六人の生徒が一生懸命、廊下や階段を掃除していました。

おみスクール パートナースペリ

麻績小クラブに ボランティア講師

六月六日から麻績小学校四、五、六年生のクラブ活動がスタートしました。今年度はボール運動、ダンスの二つを教員が、木工、茶道、料理、イラストの四つを村民の方たちが講師を務めることになりました。茶道クラブ講師の塚原富美江さん（野田沢）は、「茶道はとても奥が深いもの、限られた時間では基本的なことしか教えられませんが、



▲麻績小学校茶道クラブの様子

子どもたちがお家の方にお茶を点（た）ててあげられるようになれば」と話していました。クラブ活動は全八回。子どもたちの成長が楽しみです。

復活！農休日イベント 市野川で五年ぶり開催

令和元年に行つて以来コロナ禍で途絶えていた市野川区の運動会が、ボッチャ大会に形を変え六月二日、市野川公民館で開催されました。

初めに「どこでもいきいき運動教室」の稲葉講師を迎え、ストレッチをした後、競技開始です。ボッチャは地区では初めてですが、公民館や社協の催しで経験済みの人も多く、スムーズに進行していききました。四町会総当たり戦で優勝は上手町（わでまち）でした。その後、恒例の懇親会、ビング大会と続き、久しぶりの集いで話が弾みました。分館長の久保田和盛さんは「少子高齢化で運動会は難しいと判断した。初めて



▲狙いを定めて

の試みで不安だったが、楽しんでもらえてよかった」と話していました。当日は雨の中三十六人の区民が参加、中には九十代の方の姿もありました。

おみごと！歩いて 拾ってきれい大作戦

きれいな信州環境美化活動のキャンペーン月間（五月二十六日から六月三十日まで）にあわせ、麻績村社会福祉協議会が中心となり、麻績村の環境と健康を考えるつどい（おみごと！歩いて拾ってきれい大作戦）が六月二日に実施されました。スタート地点は自宅から、ゴール地点は麻績村役場駐車場、デイサービスみづき、

ゆりの木公園テレワークセンターの三カ所で、参加された四十五人が、それぞれの場所でごみ拾いを行いました。

当日の天気予報は雨でしたが、幸いに自宅を出発するころは曇り模様で、ゴールした九時三十分過ぎから急に雨が降り始め、雨を避けながら拾ったゴミを可燃、不燃やビン類に分別していました。



▲多くのごみが集まりました

農薬の使用は適正に！

麻績の市あさつゆによる研修会が六月八日、麻績村地域交流センターで開催され、約二十人が参加しました。

「農作物を生産出荷する農

家の農薬適正使用について」と題して、公益社団法人「緑の安全推進協会」委嘱講師で農学博士の川島和夫さんをお招きし、農薬の適正使用に関する講演が行われました。

①農薬使用者の責任、責任を果たしたことの証明②うっかりミスも含めた万が一の際の対応③解らない時には誰に聞けばよいか④適正使用のための基礎知識の四分野について動画を交えて説明があり、参加された皆さんは、食品衛生法の残留基準、日頃使用する際の農薬マスク着用、散布履歴の記帳、農薬による事故防止といった安全確保について学んでいました。



▲農薬の適正使用について講演

麻績小学校

「運動会が終わって」

三年 山本 弦義

かけっこの練習では、二年生の時よりタイムがはやくなったけど、本番は三位で、くやしかったです。でも、最後までがんばって走りました。

ダンスの練習では、はじめておどった時はむずかしかったけど、何回も練習してかんぺきにおどれるようになりました。本番は少しまちがえてしまったけど、楽しくおどることができました。ぼくは、ミックスナッツのおどりが大好きになりました。

運動会の前の日、すごく雨がふっていて心配でした。



▲ダンス「ミックスナッツ」



▲そろってポーズ

でも運動会の日天気はよくてよかったです。お母さんとお父さんがおうえんに来てくれて、きんちようしたけれど、かけっこやダンスをがんばって見せることができました。

来年の運動会では、かけっこで一位になれるように、はやく走れるようにがんばりたいと思いました。

筑北中学校

聖山登山

一年 藤澤 穂奏

私たちは聖山登山に行ってきました。最初はわくわくしていたけれど、登る日に近づく、熊や野生動物が怖くなりました。でも、やっぱりわくわくしてきました。バスで登山口ま

元気通信!!

～今月の小・中学校～

で行き、三十分くらい登っているのと疲れがでてきました。休憩場所の木には、熊の引っかかりあ

とがあつて、それも怖かったです。そのあとは、急な坂を登り切つて、やっと頂上に着きました。

筑北中は見えなかったけれど、麻績村が見渡せました。景色はとてもきれいで、写真をみんなで撮りました。初めての登山は大変でしたが、たまにはこういう体験もいいなと思いま

し。麻績村が見渡せました。景色はとてもきれいで、写真をみんなで撮りました。初めての登山は大変でしたが、たまにはこういう体験もいいなと思いま



▲聖湖をバックに記念撮影

た。六人で参加できて、とてもうれしかったです。

職場体験学習

二年 久保田唯斗

私は、麻績保育園で職場体験をさせていただきまし

た。麻績保育園は、園児全員がとても元気がよく、先生方も明るい方達だったので、二日間とても楽しく活動させていただくことができました。実際に活動して、泣いている子や困っている子に気づき助けるなど、周りを見てすぐに決断しなければならぬと感じました。

職場体験を通して、仕事のやりがいや意義を理解し、仕事の大切さを実感して、たくさんのかたを学ぶことができました。この経験を、



▲お兄さんと一緒にやろう！

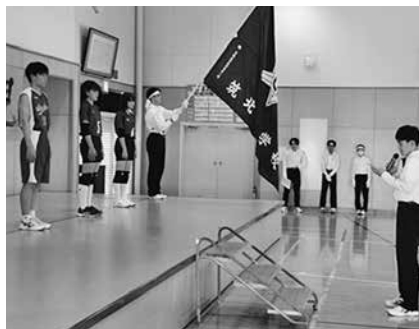
これからの生活で子どもと接する時や、仕事に活かしていきたいです。

最後の大会に向けて

三年 久保田恵太

男子バスケットボールクラブは昨年度から人数が減少し、僕一人になり、筑北中学校だけでは出場することができなくなっていました。そのため今年度は、明科中学校と合同で出場することになりました。

最初は新しいチームでうまくなじむことができなかったが、とても温かく受け入れてくれて、不安もなくなり、自由にプレーできるようになりました。今年は最後の大会なので、練習の成果を発揮し、悔いのないようにしたいです。



▲練習の成果を発揮してがんばって！

相撲と麻績の事跡

(その七)

いろいろな相撲

○泣き相撲

信濃国御守護・県護国神社（松本市）で、令和元（二〇一九）年から、概ね生後六か月から二歳の子どもの健やかな成長を祈願し、実施されている。

令和五年度は、十月九日スポーツの日、百二十名が参加し、元気な鳴き声合戦相撲が行われた。

九月二十四日には、栃木県鹿沼市「生子神社」でも行われた。江戸末期に始まったという。

泣き相撲は、最も若い力士の相撲である。

○子ども相撲

天神宮の祭りなどで行われた奉納相撲を、子ども・素人・野相撲といった。

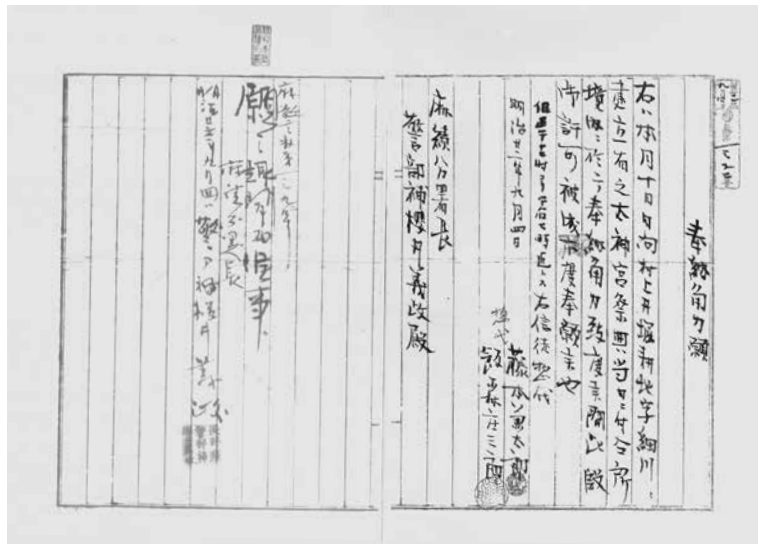
麻績で最も多い相撲行事であった。

明治町では「少年相撲大会」が行われ、貴重な写真が残されている。

塩尻市片丘には、安政年間（一八五四～一八五九年）の「子供角力花受帳」が所蔵されているという。

○学校相撲・教育相撲

学校教育の一環として、相撲が取り上げられたのは、大正四（一九一五）年だという。昭和十二（一九三七）年頃クラブ活動で相撲部があったのは、松中・松本商業・長野師範（現信州大学教育学部）の三校だという。



▲上井堀区所蔵文書「奉納角力願」写し（明治22年）

昭和十五（一九四〇）年八月二十七日、麻績小学校で相撲場四本柱上棟式が挙行されている。松本市源池小学校では、令和五年九月十三日、全校児童約二百三十名による、二十五回目の相撲大会が行われている。

○大学相撲

大相撲の登竜門となっている。

○大相撲

日本相撲協会によって興行される年六場所及び巡業相撲。

○花相撲

木戸銭をとらないで、観客の纏頭【祝儀】を受けて、臨時に興行する相撲

○慈善相撲

慈善事業に収益をあげるために興行する相撲

○奉納相撲

神社寺院の祭典に境

内で興行する相撲。麻績村で最も多く興行された相撲である。

○勧進相撲

社寺・仏像の建立や修繕費用に充てるために興行する相撲。

○草相撲

田舎で行われた、免許のない素人が行った相撲で素人相撲・野相撲・地相撲ともいう。

○女相撲

女性力士が相撲を取る相撲。またはその興行をいう。

○飛入相撲

仲間以外の者が不意に戦いに挑む相撲をいう。土俵あらしとも表現され、喧嘩のもととなることもあった。警察に届出されているのも、このためと推察される。

○力相撲

力を十分に出して取り組み、技より力で争う相撲

○独り相撲

愛媛県大山祇神社で、一人で相撲を取る格好をして奉納する神事。

○腕相撲

手と手を握り合って、相手の腕を倒す相撲。

○居相撲・座り相撲
座ってとる相撲

○相撲独楽

一組の独楽を回し、勝負を競う。

○句相撲

共通の題で一定の時間内に句をつくり優劣を競う。

○相撲酒・相撲酒盛

酒を競ってのみ、酒量を競う。急性アルコール中毒に要注意。

○紙相撲

紙や段ボールの力士姿の人形を卓上土俵にたて掛け、台を叩いて競う相撲

○唐相撲

日本人が唐土で相撲をとって唐人・帝王まで負かすという狂言のひとつ。唐人相撲ともいう。

○兜虫相撲

兜虫を戦わせる相撲。

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



▲色とりどりの装飾で華やかに

六月一日に開館二十周年を迎えたおみ図書館。八日に記念イベント第一弾を行いました。当日に向けて、スタッフ総出で飾りつけをして館内はすっかりお祝いのムードに。

当日のメインイベント、オリジナルトートバッグ作りでは、様々な種類の消しゴムはんこを目の前に「どれを押そうかな」とじっくり選ぶ人や、大好きな色で

開館二十周年 イベント開催



▲仲良くしてくれてうれしいな



▲スタンプじょうずにできたかな？

統一する人など、大人から子どもまで夢中になって取り組んでいました。

そんな中、麻績村公式キャラクター・おみぼんが登場!!



▲たくさん本を読んでね

令和二年度生まれのお子さん九名を対象とした絵本のお渡し会を行いました。今年度、プレゼント対象の推薦本二〇冊も一部入れ替えより楽しい内容に。皆さんいい笑顔でもらっ

セカンドブック開催

大喜びの子もいれば、びっくりしてしり込みしてしまいう子も…。とても賑やかな一日となりました。



▲写真展も好評です

た本に見入っていました。これからもたくさんの本と出会ってほしいと願っています。

麻績小学校図書館便り

読み語り、スタート!

今年度も保護者の方による読み語りが始まりました。

読み語りは児童の想像力を掻き立てると共に、語彙を増やし豊かな心を育成する上で大切な学習の場です。

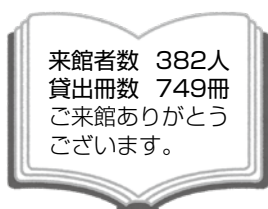
今年度当初の学年PTAで

今年度の方向を話し合った際に、PTA活動の柱として『繋がり』を意識した活動の一つとして位置づけ、やっていただける方を募って始めました。

ここで、これまでに読み語りをしていただいた方の感想を紹介しします。

「読んでいる途中でも口々に感想を伝えてくれ、集中して聞いている様子が伝わってきて、とても読みやすい雰囲気でした」「緊張して少し早口になってしまいましたが、いろいろ反応してくれる、うれしかったです」

5月の図書館



▲次はどうなる？ お話の世界に夢中

(時間が余っても構いません。児童に感想を聞いてみるのもいいですね)

「他の方の読み語りを聞いてみたいです」(ご都合のいい時に、いつでもおでかけください)

今後人数の足りないところは、おみスクールパートナーズの方にお問い合わせする予定です。更に、スクールパートナーズの方には、授業時間にもお願いしたいと考えております。

その節は、ご協力をお願いします。



「麻績メッセ二〇二四」 出展者募集

麻績メッセは、麻績・筑北地域で生産している商品や取り組みを、企業・団体・個人の展示ブースを通じて、地域の方々に知ってもらうことで、人材の確保や商品を発信するためのベース作りを目指すものです。

「麻績メッセ二〇二四」を開催するにあたり、出展者を次の通り募集します。

日時

令和六年

八月二十四日（土）

対象者

麻績・筑北地域の法人、個人事業主、創業に興味のある方、団体等

会場

地域交流センター

注意

出展者は「出展者説明会」へ必ずご参加ください。

◎出展者説明会

日時

令和六年

七月二十六日（金）

①午後三時～

②午後六時～

※①か②のどちらかにご参加ください。

場所

地域交流センター

※ご不明な点につきまして
は、お問い合わせ先へ
願います。

●お問い合わせ先

麻績村商工会

（☎六七―二二四六）



▲昨年度の様子

「企業就職面接会in松本」 の開催について

松本職業安定協会（後援・松本市、ハローワーク松本）では、令和七年三月新規大学・短大・専修学校等卒業予定者（卒業後概ね三年以内の方を含む）及び、概ね三十五歳以下の一般若年者を対象とした、企業就職面接会を次の通り開催します。

日時

令和六年八月一日（木）

午後一時三十分

～午後四時（入退場自由）

受付時間

午後一時～午後三時三十分（事務所の人事担当者と直接面接ができます）

場所

ホテルブエナビスタ

（松本市本庄一―二―一）

☎三七―〇一一）

参加予定企業

松本・塩尻・安曇野・東筑・大北地域に就業場所をもつ企業（七十企業参加予定）

お問い合わせ先

①学生等（大学等卒業後三

年以内の方）

ヤングハローワーク松本

（☎二二―八六〇〇）

②概ね三十五歳以下の一般若年者

ハローワーク松本

職業紹介第一部門

（☎二七―〇一一）

部門コード 一一＃）

気象庁から

海水浴に行く皆さんへ

夏は海水浴のシーズンとなりますが、津波警報等が発表された時は、テレビ、ラジオや携帯電話の緊急速報メール等のほか、海水浴場等では赤と白の格子模様の旗「津波フラッグ」によりお知らせします。

海水浴場や海岸付近で「津波フラッグ」を見かけ

たときは、高台や津波避難場所等へ速やかに避難してください。

熱中症特別警戒アラートの運用開始

熱中症警戒アラートは、危険な暑さが予想される場合に、暑さへの「気づき」を促し熱中症への警戒を呼

びかけるものです。熱中症の危険性が極めて高くなると予想される日の前日の午後五時頃または当日の午前五時頃の日二回発表されます。

今年四月からは、熱中症警戒アラートの一段上の熱中症特別警戒アラートが新たに創設されました。

熱中症に関する情報を、ニュースや天気予報、環境省及び気象庁のサイト等で確認し、熱中症予防行動をとりましょう。



お誕生おめでとう



泉 萬尋ちゃん
晃宏・恵美
（菅の沢）

ご冥福を祈る

柳原 芳江 98歳 叶里高畑